

第43回 高速道路の新設等に要する費用の縮減に係る助成に関する委員会

議事概要

1. 日 時 令和8年7月2日(木) 15:00～17:00

2. 場 所 独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構 会議室(対面形式とWEB形式の併用)

3. 出席者 ≪委員≫ 中村委員長、後藤委員、野澤委員、芳賀委員、真下委員

4. 議事概要

高速道路会社より認定申請を受けている9議題の経営努力要件適合性等について審議を行った。

〔審議事項〕

◇経営努力要件適合性

認定基準 ①ーイ 地権者、関係機関などへの提案及び協議

(議題 1)トンネルインバート設置工事における規制形態の変更によるコスト縮減

(長野自動車道 麻績IC～安曇野IC) [特定更新等事業]

認定基準 ①ーイ 地権者、関係機関などへの提案及び協議

(議題 2)リニューアル工事における簡易中分(ポストコーン)残置状態での対面通行規制開放によるコスト縮減

(上信越自動車道 碓氷軽井沢IC～東部湯の丸IC) [特定更新等事業]

認定基準 ①ーイ 地権者、関係機関などへの提案及び協議

(議題 3)ダム湖内橋脚の耐震補強に伴うダムの水抜き計画によるコスト縮減

(長野自動車道 麻績IC～安曇野IC) [修繕事業]

認定基準 ①ーイ 地権者、関係機関などへの提案及び協議

(議題 4)鋼桁補強の施工におけるクレーン据付位置を橋梁上から河川敷へ変更したことによるコスト縮減

(中央自動車道 国立府中IC～八王子IC) [特定更新等事業]

認定基準 ①ーロ 現場特有の状況に対応するための創意工夫

(議題 5)既往の研究結果に基づく設計の工夫による鋼アーチ橋の疲労き裂対策によるコスト縮減

(東名高速道路 大井松田IC～御殿場IC) [特定更新等事業]

認定基準 ①ーロ 現場特有の状況に対応するための創意工夫

(議題 6)海上を使用した土運搬の採用によるコスト縮減

(広島呉道路 坂北IC～呉IC) [改築事業]

認定基準 ①ーロ 現場特有の状況に対応するための創意工夫

(議題 7)4車線化事業における大規模な道路線形の変更によるコスト縮減

(松山自動車道 伊予IC～内子五十崎IC) [改築事業]

認定基準 ①ーハ 国内の道路事業において実績のない新たな技術の採用

(議題 8)橋梁用広スパン低位置道路照明の開発によるコスト縮減

(神戸淡路鳴門自動車道 垂水JCT・IC～淡路IC・SA 他) [修繕事業]

認定基準 ② 資材又は機材の調達を工夫

(議題 9)仮設LED表示板の支社一括レンタル契約による調達

5. 議事内容

〔審議事項〕

●議題1について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断し、係数 α を0.5と決定した。

社会便益についても認定し、係数 β を1.2と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

・非常時には非常口の手前で反対側の車線に渡る必要があると思うが、コンクリート防護柵部分はどういった構造なのか。(委員)

→トンネル内の非常駐車帯部に位置する箇所(約30m)については、コンクリート防護柵ではなくレーンバリアで開口できる構造である。有事の際は常駐する交通監視員が速やかにレーンバリアを開放し、避難ができるように計画している。

●議題2について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断し、係数 α を0.5と決定した。

社会便益についても認定し、係数 β を1.2と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

・交通管理者との協議期間はどの程度か。(委員)

→ポストコーンを残置することはこれまで事例がないことであり、数か月を要した。安全対策や監視体制を強化することで許可された内容である。

・同じような箇所があれば同様の内容で施工することが可能か。(委員)

→協議先によって考え方が必ずしも一致するわけではないので、全国で適用できるかは不明であるが、今回と同様の協議相手の箇所では同様の内容で施工する予定である。

●議題3について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断し、係数 α を0.75と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

・水生生物はどの程度いるのか。また、処分費がかかるのではないか。(委員)

→水抜きを実施していないため、水生生物の量や処分費は現時点では把握できないが、処分費が大幅に増額するものではないと考えている。

・協議先が多岐にわたっており、協議の難易度が十分に高いと思われる。(委員)

●議題4について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断し、係数 α を0.5と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

・実際の現場では、重機を退避したようなことはあったのか。(委員)

→退避の基準は設けたが、これまでに基準を超過することはなく、退避に至っていない。

・河川管理者の説得は大変だと思う。河川管理者が納得したのは、どの段階か。(委員)

→足場や本体工に係る河川協議は許可されていたが、今回追加で協議が必要となった河川敷を利用した協議については、流出防止策と退避計画を立案し、追加協議開始から約7か月で河川管理者との協議が成立した。

●議題5について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断した。

社会便益についても認定し、係数 β を1.2と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

・既往の研究成果を参考にし、研究成果を現場へ実装しているが、国内初の取組であるなら新技術で評価することはできないのか。(委員)

→鋼アーチ橋の疲労き裂対策として、き裂先端の応力場に着目した解析を実施し、ストップホール+当て板をしたことは初めての内容であるが、今回適用する工法は広く用いられる工法である。申請内容が現場の創意工夫ということで、新技術ではないと判断している。

・道路橋示方書では、補強の方法はどこまで決められているのか。(委員)

→道路橋示方書には、疲労き裂が発生している箇所の応力を低減させるための補強を実施するといったような記載である。今回の経営努力による変更では、FEM解析をして詳細に確認したということである。

・道路橋示方書はどの程度改定されるのか。(委員)

→大きな地震が発生した時などに改定されており、数年に1回改定されている

・学術成果を使って現場に落とし込んでいることは非常に評価が高い。(委員)

●議題6について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断した。

社会便益についても認定し、係数 β を1.2と決定した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

- ・人手不足の社会的課題がある中で、今回海上運搬にしたことで人手も効率化できていると思う。運搬費用が縮減していることでインセンティブが発生するが、今後は追加で評価できるように考えていくべきではないか。(委員)

→社会的便益 β の中で評価できないか等、今後検討していきたい。

- ・ストックヤード等整備したものは今後どう取り扱うのか。(委員)

→海上運搬積込み拠点について、原形復旧を行う

- ・気象の影響は受けないのか。(委員)

→天気が悪い時は運搬しないが、事業が停滞しないように2次ストックヤードを設けている。

●議題7について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断した。

アウトカム指標との連動についても認定し、係数 γ を1.1と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

- ・現場の創意工夫のポイントは何か。BIM／CIMで具体的に何をしたのか。(委員)

→当初の設計での課題の大きさを可視化したこと及び変更した線形での施工が、現実的であるかどうか確認したことである。

- ・Ⅰ期線を施工した際に、Ⅱ期線橋台の設計や施工は実施していなかったのか。(委員)

→暫定2車線の区間では、橋台をⅠ期線施工時にⅡ期線分も施工することはあるが、当該箇所はⅠ期線とⅡ期線に高低差もあるため、橋台の設計や施工は実施していない。

●議題8について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断した。

社会便益についても認定し、係数 β を1.2と決定した。

主な意見等は以下のとおり。

- ・人手不足の社会的課題がある中で、メンテナンスが楽になり、インフラの持続可能性も考えると社会的にも意味がある。今後追加で評価できるように考えていくべきではないか。(委員)

→社会的便益 β の中で評価できないか等、今後検討していきたい。

- ・陸上部では使用できないのか。優位性はないのか。(委員)

→今回の技術は、下側には魚へ影響が出ないように、上側には近くに天文台があるため星の観測へ影響が出ないようにといった特殊な状況下で対応し、基準も決めた。陸上部だと違う問題点が出る可能性もある。

●議題9について、運用指針に定める経営努力要件に適合すると判断した。

主な意見等は以下のとおり。

・変更後の仮設 LED 板は、積算上単価をどう設定しているのか。(委員)

→制限価格を設定しないせり下げ方式を採用している。

・効率化されたことは縮減額に考慮されているのか。考慮していない場合は、今後縮減額に反映できるように検討してほしい。(委員)

→社員の稼働になるため、縮減額には考慮していない。今後の検討としたい。

以 上